



## 県立甲山森林公園ハイキング

担当 福嶋明子

阪急仁川駅から甲山森林公園をめざし、公園内の散策、甲山登山、中腹の神呪寺（かんのうじ）からの眺望を楽しみ、阪急甲陽園駅まで降りてくるといふハイキングです。

公園内は樹木に名札も多く観察しやすいですし、野鳥も集まります。道も整備されています。

行きと帰りの道は、高低差がありますが、できるだけなだらかな道を選び、脇道にそれるなど、歩きやすく交通量の少ないコースを選びました。甲山登山も、登頂する健脚組と山麓を行く組に分けたいと思います。ただやはり、登山道には花崗岩が風化したざらっとしたところがあり、住宅街の間にも坂道が多いので、足元はしっかりした靴でご参加ください。熱中症対策もお忘れ無く。

「甲山森林公園マップ」と「甲山周辺マップ」（登山用地図）は、公園東口でお配りします。

なお森林公園北東の斜面下には、地すべり資料館があります。阪神淡路大震災の折り、大規模な地滑りが発生し多くの方が犠牲になったところですが、学ぶべきところではありますが、木曜は休館日のため、今回はコースから外しています。

雨天中止の場合は、前日夕刻、メールで連絡いたします。

・日 時 2021年 7月29日（木）

・集 合 10時30分 阪急仁川駅 西出口（無人の小さな改札口）

仁川駅へは、阪急西宮北口駅で、6・7番線の宝塚方面電車に乗り換えてください。

（6・7番線ホーム中央にきれいなトイレがあります。）

仁川駅構内のトイレは東出口側にしかありません。しかしそのまま東口改札（有人）を出るとすぐ右側にエスカレーター付きの地下東西自由通路があつて、西口へ回れます。

どちらかでトイレを済ませてください。この後1時間20分ほどトイレはありません。

仁川駅西口側にファミマ、東口側にc o o p、ローソンが有ります。

・持ち物 弁当、水筒、ストック、雨具、帽子、敷物、双眼鏡 など

・行 程 約7km

10:30 阪急仁川駅西出口

仁川沿いの道路から住宅街に入り、くすの木通りを経て関西学院大学を回り込み、上ヶ原浄水場

11:30 森林公園東口 → トイレ4 →

11:50 展望台 昼食 生駒・金剛まで見渡せる絶景。背後には大坂城石垣石丁場があります。

12:30 展望台出発 → トイレ4 → シンボルゾーン → トイレ5 →

13:00 西宮市立甲山自然の家 甲山自然学習館見学。トイレ有り。

この後、神呪寺石段下の小さなトイレまで、トイレは有りません。

13:15 甲山登山 健脚組…自然の家前から源頼朝の塚を経て、頂上へ（30分）。10分休憩。

頂上から神呪寺方面へジグザグの階段の多い道を神呪寺境内まで下山（20分）。

山麓コース組…源頼朝の塚の手前の分かれ道までは、健脚組と同じ。以後は平坦な道で甲山の中腹を巡り神呪寺境内へ（30分）。鐘楼横の展望台（絶景）で健脚組を待つ。

14:30 神呪寺階段下（本堂から、整備されたまっすぐの百段ほどの石段を下りたところ）。

トイレ（男女各個室1つずつのみ）。以後、甲陽園駅まで約50分、トイレは有りません。

14:40 神呪寺仁王門 → 石仏群（江戸時代に作られた四国八十八カ所巡りのミニ版） → 絶景ポイント（甲山・神呪寺全景が見渡せる） → 住宅街の中を下る。

15:30 阪急甲陽園駅 解散。（洋菓子のツマガリ本店がすぐ近くです。）

ここから2駅で、阪急神戸線夙川駅です。

## 甲山登山について補足

登山道は少しきつめの道（大台ヶ原の健脚コースの登りぐらい？）ですが、長い距離ではありません。山麓コースも、健脚組との共通部分で少しの間ですが手すりやロープを伝って登るところが有ります。「そこはサポートして 登れるようにしよう」と、下見の折の先輩方の弁。それでも不安な方、神呪寺の階段を避けたい方は、自然の家から舗装されたピクニックロードを通ると15分ほどで神呪寺階段下まで行くことができます。ただし下で待っていただく時間が長くなります。（仁王門下の茶店が、残念ながら木曜定休とのことでした。）

### ◎甲山（309.2 m）

東六甲に位置するが、どの山ともつながらない火山性の単独峰である。

名前の由来については、190年頃、神功皇后が平和を祈願して金の兜を埋めたからとも、山の姿が兜に似ているからとも言われている。山頂から青銅製の銅戈が発見されており、周辺の弥生時代の遺跡との関連も考えられるという。（山頂に解説板あり）

関西学院大学の学舎はヴォーリスの設計による美しい建物であるが、そのシンボルの時計塔は見事に甲山を借景としている。

### ◎石丁場跡

徳川による大阪城再構築の際、石垣用の石が六甲周辺からたくさん切り出されたが、甲山森林公園内にその石丁場跡が何カ所も残っている。公園南東部に多いが、展望台の背後でも見られる。石材を割るには分割予定線に沿って穴（矢穴）のをあけ、矢（鉄製のクサビ）を打ち込む。その矢穴の残っている石が多数転がっている。担当した備前鍋島藩の刻印も見られる。（解説板あり）

### ◎神呪寺（かんのうじ）

天長8年（831）淳和天皇の妃、眞井御前（まないごぜん・出家名 如意尼）が弘法大師に導かれて開いたと伝わる真言宗の寺で、甲山大師とも呼ばれている。

寿永年間（1182～）に源頼朝が諸堂を再建しており、山中登山道に頼朝の塚がある。

本尊の如意輪観音は、弘法大師が如意尼の姿を写して桜の木に彫ったという秘仏で、年に1度、5月18日に開帳される。何事も融通して願いを聞いてくださる、ということで融通観音と呼ばれ、特に商売繁昌、金運に御利益があるとか。寺務所で、財宝万倍の融通小判がお守りとして売られている。

本尊のほか、大師像、不動明王座像、聖観音立像も重要文化財である。



←甲山シンボルゾーン



神呪寺→